

令和元年度 基準範囲共用化委員会報告

Report from the committee on common-use reference interval in 2019

康 東天（基準範囲共用化委員会委員長、九州大学大学院医学研究院教授）

Dongchon Kang (Chairperson of the committee on common-use reference interval, Professor of Kyushu University Graduate School of Medical Sciences)

活動内容：

日本臨床化学会（JSCC）のALP・LD 標準測定法の改訂に連動し、JCCLS 共用基準範囲への追記改定を行った。共用基準範囲の適応範囲拡大に努めた。

委員会開催：

○第1回委員会

日時：2019年8月23日（書面会議）

参加者：康、市原、伊藤、奥原、宮地 石橋、細萱、望月、山本、伊藤、坂田、河端、滝野、荒木、川中、関（JCCLS）、堀田

○第2回委員会

日時：2019年10月21日（書面会議）

参加者：康、市原、伊藤、奥原、宮地 石橋、細萱、望月、山本、伊藤、坂田、河端、滝野、荒木、川中、関（JCCLS）、堀田

方法（IFCC法）に変わります（令和2年4月1日から令和3年3月31日の1年間で移行を終了します）」に連動して、共用基準範囲にALP（IFCC）、LD（IFCC）を追記した。理事会の承認を得て、令和2年2月3日よりJCCLSホームページにて公開した。

2. 医学教育用基準範囲

医学教育用基準範囲（案）及びパブリックコメント回答内容を盛り込んだ「共用基準範囲に基づく医学教育用基準範囲一解説書一」を理事会に提出し、理事よりご意見を頂いた。（改訂中）

3. 今後の活動について

広報・周知活動のために下記を推進する予定である。

① パンフレット（Q&A）作成

状況報告：

1. 共用基準範囲

日本臨床化学会の「日本国内のALP、LDの測定方法が世界的に普及している測定